

ID:	=患者情報!B1			(MTX髄注) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2		殿						
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来	入力日	年	月	日	

疾患名		開始日	年	月	日	
クール	週1~2回から開始 (髄液が正常化するまで) その後、月1回へ移行していく。		診療科			
			申請 医師名			

適応 基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 進行 <input type="checkbox"/> 再発			告知の 有無		P S	同意書 取得	<input type="checkbox"/> 済	
	<input checked="" type="checkbox"/> 癌性髄膜炎	身長		cm	体重		kg	体表 面積	0.00

薬品名	単位	薬品名	単位	外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A (医事課へ相談)
MTX 12	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ²	→ 最大 15	<input checked="" type="checkbox"/> mg/body		<input type="checkbox"/> B

添付文書ではレジメン名が限定されているため。

重要 B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

HBs抗原
 HBs抗体
 HBc抗体

レジメン内容

①	メトトレキサート注 (MTX)	10~15mg	髄注	数分かけて ゆっくり投与
	水溶性プレドニン (20mg)	20mg		
	生食液 (20mL)	5mL		

※注射シリンジ(10mLサイズ)にて調製しビニールパックに入れて払い出すこと。

癌細胞が検出されなくなるまで週1~2回投与する。
その後、維持として月1回投与する。

薬剤師へ; 投与間隔については十分留意すること。
[腰椎穿刺(ルンパール)のタイミングなどがあるため、曜日固定は難しいため]
※薬歴を必ず確認すること。

1Kur目			確認者	監査者
Day	1 7		
MTX	この期間で 1~2回	反応を見ながら、週2回→週1回→月1回と漸減する		

注意事項など